

くらしの目線で市政を変える

こんにちは **日本共産党** 西野さち子 京都府議会議員

発行：2020年6月28日 連絡先：京都市伏見区新町10丁目3 8 1 日本共産党伏見地区委員会 Tel:075(611)9135 FAX:075(602)9117



池田町バス停の バス待ち環境改善 交通局へ



6月17日の午後、池田町バス停のバス待ち環境の改善について、京都市交通局に行き、懇談をしました。ベンチは設置されましたが、屋根がありません。4月には京阪バスに要望署名266筆とともに、地域の皆さんの声を直接届けました。

京阪バスは、「お客様の声は重く受け止める」しかし「予算の必要なものはなかなかいい返事ができない」との事でした。バス待ち環境の改善は、市バスが廃止をされた醍醐地域について、京都市の責任もありますから、同じ要望を京都市交通局にも届けました。担当者は「屋根を1基設置するのに約300万円必要。コロナで減収の状況があるので、かなり厳しいが交通局だけではなく、都市計画局にも届け、状況の共有をする。」と答弁がありました。西野市議からは「交通局単独ではなく、一般会計の予算で考えることも必要。昨年度まであった民間バスへの支援予算を復活させるために頑張る。交通局からも意見を出してほしい。」と要望しました。三蜜を避けるため人数を絞って、住民の方と西野市議の4人で行きました。



委員会質問報告 (文化市民局) 「いきいき市民活動センターの サウンディング型市場調査」について

いきいき市民活動センターは、これまで4年ごとの指定管理者を公募してきました。しかし、今回は来年度までの3年間で公募されています。来年度の公募に当たって「よく使われている所とあまり活用されていないところがある」として、もっと効率よく活用する案はないかと、活用方法の提案を募集するというものです。しかし、市内には市民が使用料が安く気軽に使える会議室などの活動の場所が少なすぎる現状です。西野市議は「もっと効率よく活用できる提案を募集して、良いものがあれば採用するのは良いが、その結果、これまで使用していた市民が使いにくくなるのでは本末転倒。いきいきセンターのような場所をもっと増やし、バリアフリー化を進めることこそ必要」と求めました。



西野 さち子 副委員長
(共産党 伏見区)

森川市議員 (元日本維新の会) に 政務活動費二重取りで 問責決議

6月2日に終了した5月市会では、終了本会議で、政務活動費を2重に受け取っていたことを監査委員会から指摘を受けて返金した森川市議に対する問責決議案が上程され、日本維新の会以外の議員の賛成で可決されました。

森川議員の政務活動費に関する問題は3回目になります。前回は何台もの高級レンタカー代や宣伝カーに給油可能な量を超えるハイオクガソリンを計上し、監査委員会から指摘され返金しています。今回は事務所の電気設備の工事代金を2重に計上していました。今回で3度目ですから、うっかりミスで済まされるものではありません。

6月19日の京都新聞夕刊には「森川市議の責任重大 領収書など疑問」の見出しで、市会議長が、市政活動費交付条例

に基づく調査の結果を発表したと報じました。また、市監査委員は「あつてはならない行為」と異例の対応をしたと報じました。



困ったときは… **日本共産党の生活相談所へ**
毎週月・水・金曜日 午前10時から午後5時

まずはお電話ください!!

☎ 621-6717